

(様式4)

## 情報公開文書

課題名 : 胃静脈瘤に対する BRTO の経験

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日から 2025 年 12 月 31 日

研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

### 1. 研究の対象

2013 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに治療を必要とする胃静脈瘤を有し、当院でバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術(BRTO:balloon-occluded retrograde transvenous obliteration)を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

胃静脈瘤は、肝硬変など門脈圧亢進症における合併症のひとつであり、進行した場合突然の出血などで命を脅かすことがあります。2013 年ごろから胃静脈瘤の治療としてバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術(BRTO:balloon-occluded retrograde transvenous obliteration)が行われております。この治療法は本邦で開発された手技であり胃静脈瘤に有効な治療法であるとされています。今回は 2013 年から 2023 年に当院で胃静脈瘤に対し BRTO を行った門脈圧亢進の患者さんについて後方視的に振り返りデータを取りまとめることで、中長期的な経過を含めて当院における治療経験を評価検討したいと考えております。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

画像所見、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、治療後の経過 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

### 6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 肝臓内科 影山富士人(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中央区富塚町 328

電話: 053-453-7111(病院代表)

2024 年 5 月 16 日作成